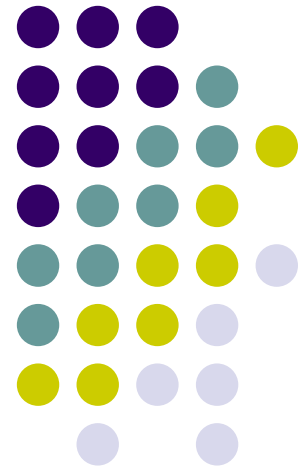
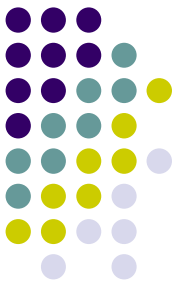


初級からの日本語スピーチ指導 ワークショップ

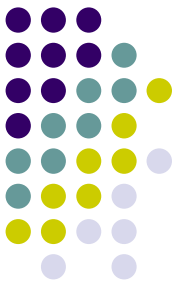


 国際交流基金 関西国際センター
The Japan Foundation Japanese-Language Institute, Kansai



スピーチを指導したことがありますか？

1. 学習者（日本語レベル、年齢、学習目的）
2. 学習環境（クラスサイズ、スピーチにとれる時間数）
3. 学習の目的
スピーチを日本語学習に取り入れるメリット
4. その他（たいへんだった点）



1. 学習者

日本語レベル: 初級・初中級・中級・上級

年齢: 初等中等教育、高等教育、成人教育、など

学習目的: 選択外国語科目、継承語教育、など

2. 学習環境

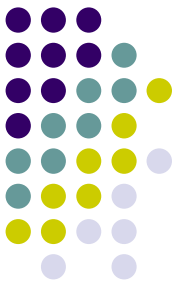
クラスサイズ: 6-7人・15人・20人～

スピーチ時間数: 週2時間・スピーチコンテスト前

3. 学習の目的(スピーチ)

初級文法の確認

スピーチコンテストの準備

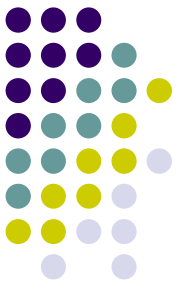


ワークショップの目的

?なぜ初級から「スピーチ」を日本語指導に取り入れるのか?どんなメリットがあるのか?

?どのように「スピーチ」を日本語指導に取り入れることが可能か?

みなさん自身の教育現場、教室について考えてみましょう!



内容

1. 『初級からの日本語スピーチ』の概要
2. 関西国際センターでの使用例
3. 教師、学習者からのフィードバック
～休憩～
4. グループワーク(みなさんのクラスについて考えましょう！)



1. 『初級からの日本語スピーチ』の概要

教材作成の背景・意図

- ・まとまった話ができるようになる練習を初級段階から取り入れられないか？
- ・初級でも知的な話題を扱えないか？
- ・必要な語彙は表現は？
- ・聞き手を意識した発表指導ができないか？



1. 『初級からの日本語スピーチ』の概要

本書の目的

- ①自分や国、社会、文化に関する特定の話題について、まとまった話ができるようになること
- ②自分や国、社会、文化についての質問に答えることで口頭能力を伸ばすこと
- ③効果的な発表のための技術を身に付けること



1. 『初級からの日本語スピーチ』の概要

	Step1(1～9課)	Step2(10課～15課)
日本語レベル	初級前半	初級後半
ねらい	意味のまとまりの意識化	より複雑な談話形成のための基礎
展開パターン	情報の列挙	より複雑な談話形成につながる 単純な展開
話題	1. まつり 2. 地理・民族・宗教 3. 私の仕事 4. 観光 5. 歴史 6. 私の国と日本の関係 7. 結婚 8. 産業と貿易 9. 経済と人々の生活	10. 対比する「習慣の違い」 11. 因果関係1「教育の問題」 12. 変化を説明する 「日本(日本人)のイメージ」 13. 分析する「人間関係」 14. 因果関係「社会問題」 15. 出来事を語る「いやな体験」
Q&A	文レベル	段落レベル



1. 『初級からの日本語スピーチ』の概要

各課の構成

→スピーチ作成プロセスを重視



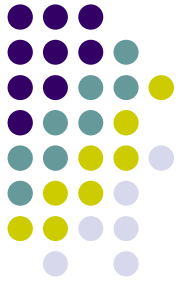
各課の構成	学習活動
① <u>Flowchart</u> (各課で学習する談話展開のパターンと それに関わる表現)	<談話展開の把握>
② <u>Questions</u> (Flowchartの流れに沿った質問) ③ <u>Reference vocabulary/Useful expressions</u> (Questionsに答えるのに役立つ表現、語彙)	<話題に関するQ&A>
④ <u>Example speech</u> (Flowchartの流れに沿ったスピーチ例)	<談話展開の確認> <作文>
⑤ <u>What is a good speech?/Something important!</u> (効果的な発表のためのアイデア)	<発表> (質疑応答、フィードバック含)

4

観光

Sightseeing

Flowchart
(step1)



Flowchart

きょうは 私の 国の 観光について お話したいと
思います。
_____で 一番 おすすめ (recommendation) の
観光地 (sightseeing spot) は _____です。

Introduction

☆ **General information (location, climate, etc.)**
まず _____の 地理 (geography) や 気候 (climate) に ついて
お話ししましょう。……
☆ **Amusements**
では、次に _____での 楽しみ (amusements) を
紹介しましょう。……
☆ **Advice for visitors**
最後に いくつか アドバイスが あります。……

Main Body

☆ **Comments on the sightseeing spot**
_____は 本当に _____所です。

Conclusion

きょうは 私の 国の 観光について お話しました。
では、ご質問を よろしく お願いします。

Ending

Questions

16

- ④ 4. そこは 何で 有名ですか。特に (especially) 何が いいですか。
- ⑤ 5. そこで どんな 楽しみが ありますか。
- ⑥ 6. おみやげ (souvenir) は 何が いいですか。

Useful expressions

① N1は N2で 有名です。 N1 is famous for N2.

- 沖縄は 美しい 海で 有名です。
- エジプトは ピラミッドや スフィンクスで 有名です。

② name という N N called (name)

- ギリシャに クレタと いう きれいな 島 (island) が あります。
- メキシコは タコスと いう 食べ物で 有名です。

③ ぜひ Vて-form みて ください。 Please try to V.

- ぜひ 日本料理を 食べて みて ください。
- ぜひ チリワインを 飲んで みて ください。

Q&A

Useful expressions

Reference vocabulary

観光地	かんこうち	sightseeing spot
自然	しぜん	nature
～島	～とう	～island
さんごしょう		coral reef
湖	みずうみ	lake
～湖	～こ	Lake～
パゴダ		pagoda
宮殿	きゅうでん	palace
城	しろ	castle
博物館	はくぶつかん	museum
美術館	びじゅつかん	art museum
記念碑	きねんひ	monument
独立記念碑	どくりつきねんひ	independence monument
国立公園	こくりつこうえん	national park
～王朝	～おうちょう	dynasty
～世紀	～せいき	century
美しい	うつくしい	beautiful
伝統的な	でんとうてきな	traditional
残っています	のこっています	to remain
	ex. アンコールには クメール王朝の 遺跡が 残っています。	
おみやげ		souvenir
お菓子	おかし	sweets
お酒	おさけ	alcoholic drink
民芸品	みんげいひん	folk craft
工芸品	こうげいひん	craftwork
手作りの	てづくりの	hand made

4 観光
Sightseeing

Example Speech

Example Speech

きょうは 私の 国の 観光について お話したいと 思います。

日本で 一番 おすすめの 観光地は、沖縄です。

まず 沖縄の 地理や 気候について お話ししましょう。沖縄は

東京都 南、1500キロ、飛行機で 2時間です。気候は 亜熱帯気候で、一年中 暖かいです。特に、6月の 始めは 毎日 天気が よくて、とても 気持ちがいいです。

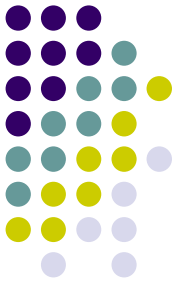
では、次に 沖縄での 楽しみを 紹介しましょう。沖縄は 美しい

海と さんごしょうで 有名です。沖縄へ 行ったら、ぜひ ダイビング を してみてください。特に「ざまみ」と いう 島が おすすめです。それから 市内の マーケットも とても おもしろいです。例えば、野菜や 果物や 沖縄音楽の テープや 民芸品を 売って いて、沖縄の 人々の 生活を 知る ことができます。

最後に いくつか アドバイスが あります。市内の 交通機関は バスか タクシーです。グループで 旅行する 場合は、レンタカーを 借りると 便利です。それから 沖縄の 治安は とても いいですが、夜

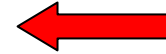
Reference vocabulary

(C)The Japan Foundation
Japanese-Language Institute, Kansai





Flowchart



Introduction

☆ **Introducing the problem**

_____では 今 _____が 起こって います。

☆ **Background of the problem**

では、どうして このような 問題が 起こるのでしょうか。

(background situation)

それで/ですから、_(problem)_ のです。

☆ **Comments (the solution)**

この 問題を 解決する (to solve) ために、何が

必要 (necessary) でしょうか。私は……

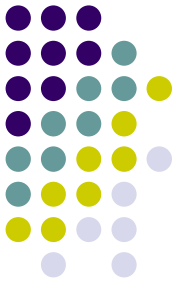


Ending

Main Body
(Development)

Conclusion

What is a good speech?



内 容

- ① いいスピーチとは？
- ② スピーチの準備
- ③ 話し方（声、スピード、ポーズ、読まずに話す、視線と表情）
- ④ ハンドアウトの作り方
- ⑤ キーワードの扱い

What is a good speech?



3 ポーズはどこ？ / Where to put a Pause ?

Ex. 上手なポーズのおきかた

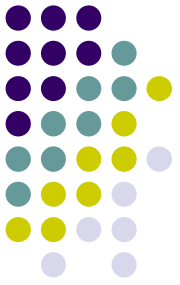
きょうはモンゴルの祭りについてお話しします。モンゴルで一番大切な祭りは「ナーダム」という祭りです。この祭りは7月11日から14日まで、三つの競技をします。「モンゴル相撲」と「アーチェリー」です。この祭りの始まりはとて古くて、1250年ごろです。

∨ : ポーズのマーク

「きょうは ∨ モンゴルの祭りについて ∨ お話しします。 ∨
モンゴルで ∨ 一番大切な祭りは ∨ 「ナーダム」 ∨
という祭りです。
∨ この祭りは ∨ 7月11日から14日まで ∨、 ∨ 三つの競技
をします。
∨ 「モンゴル相撲」と ∨ 「競馬」と ∨ 「アーチェリー」
です。
∨ この祭りの始まりは ∨ とて古くて ∨ だいたい ∨
1250年ごろです。

- ★ 「きょう は」 ∨ …… 「は」 の後 は いつもポーズ
- ★ ∨ 「ナーダム」 ∨ …… たいせつなことばの前と後ろに ポーズ
- ★ モンゴルで ∨ …… ポーズは いつも助詞 (particle) の 後

Something important!



内容

- ①スピーチの中でクイズを出すとおもしろい
- ②どうやって資料を見せますか？
- ③スピーチの始め方
- ④コンセプトマップが便利
- ⑤魅力的なスピーチにするために

Something important!



Something important!

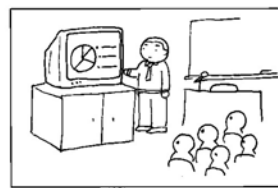
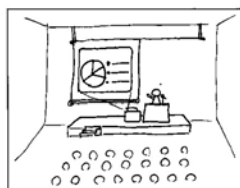
どうやって ^{しりょう}資料を ^み見せますか？

1 ^{しりょう}資料は ^{よく}よく見えなければ ^{だめ}だめです。

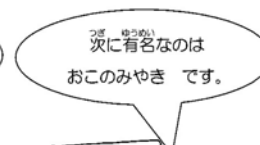
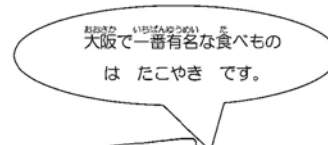
◎ ^{ひろい}広い部屋・^{たくさん}たくさんの人

⇒ Over Head Projector/Projector

◎ ^{ちいさい}小さい部屋・^{すくない}すくない人 ⇒ TV / ホワイトボード



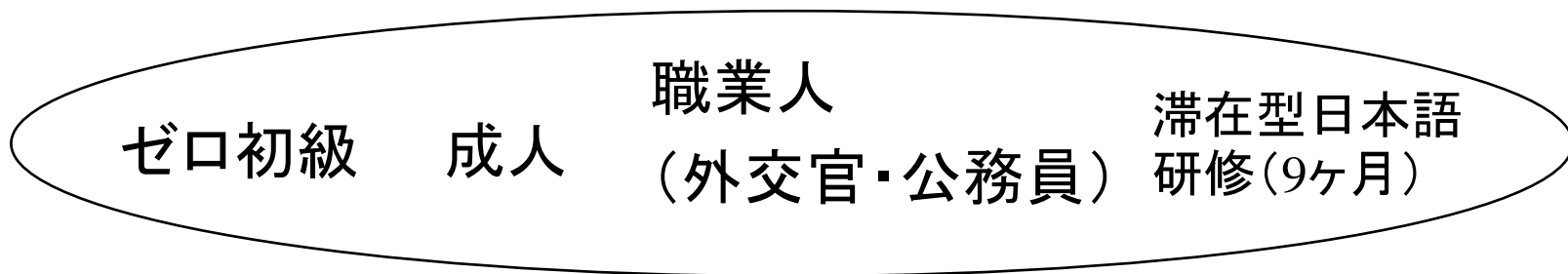
2 ^話話していることと ^見見せていることは ^{同じ}同じでなければ ^{なり}なりません。





2. 関西国際センターでの実践例

① 外交官・公務員日本語研修の場合



☆タスク 職業上のニーズとしてのスピーチ



「スピーチ」を選択科目として設定



①外交官日本語研修の場合

2学期(日本語学習開始4ヶ月目～)

3学期(日本語学習開始7ヶ月目～)

	月	火	水	木	金
1	文法 会話 ※	文法 会話	文法 会話	文法 会話	日本 事情
2					
3	漢字	集会	漢字	漢字	(発 音)
4	会話	聴解	会話	スピー チ	社会文化 講義
5		語彙			
6	個別授業				

	月	火	水	木	金
1	文法 会話	文法 会話	文法 会話	文法 会話	外交業務 のための 日本語
2					
3	漢字	集会	漢字	漢字	自由 会話
4	会話	ビジネス・ タスク	聴解	スピー チ	社会文化 講義
5	読解		語彙		
6	個別授業				

2学期:週1回(2コマ/100分)×10回

3学期:週1回(2コマ/100分)×8回

※『みんなの日本語』(スリーエーネットワーク)使用



2. 関西国際センターでの実践例 授業の流れ(例:科目を設定する)

	初回授業	2回以降の授業
1コマ (50分)	クラス概要の説明 ‘いいスピーチとは?’	○課のスピーチ発表 質疑応答とフィードバック
2コマ (50分)	○課の導入 (Flowchart→Q&A →Example speech)	△課の導入 (Flowchart→Q&A →Example speech)
クラス 外活動	原稿の作成 添削(個別指導) 発表練習(教師のモデルテープ を聞きながら)	原稿の作成 添削(個別指導) 発表練習(教師のモデルテープ を聞きながら)

→

最終公開発表会



2. 関西国際センターでの実践例

②日本語学習者訪日研修(大学生)の場合

初級後半レベル～ 大学生

滞在型日本語
研修(6週間)

☆タスク

地域との交流時の自国紹介スピーチ
研修の総括としての発表会



スピーチ発表前にスポットで授業を設定
2回(100分+50～100分)



2. 関西国際センターでの実践例 授業の流れ(例: 発表会前の準備)

第1回授業	
1コマ (50分)	クラス概要の説明 ‘いいスピーチとは?’
2コマ (50分)	○課の導入 (Flowchart→Q&A →Example speech)
クラス 外活動	原稿の作成 添削(個別指導) 発表練習(教師のモデルテープ を聞きながら)



第2回授業	
50 ~ 100 分	○課のスピーチ発表 質疑応答と フィードバック (録画ビデオを 見ながら)



最終発表会

訂正と評価



☆個別指導・・・原稿と話し方のチェック

☆発表後・・・

学習者からの評価(ピア・フィードバック)

教師からの評価

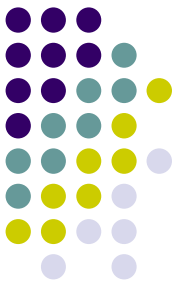
日本人からの評価

評価チェックリストによる
3段階評価+コメント ⇒

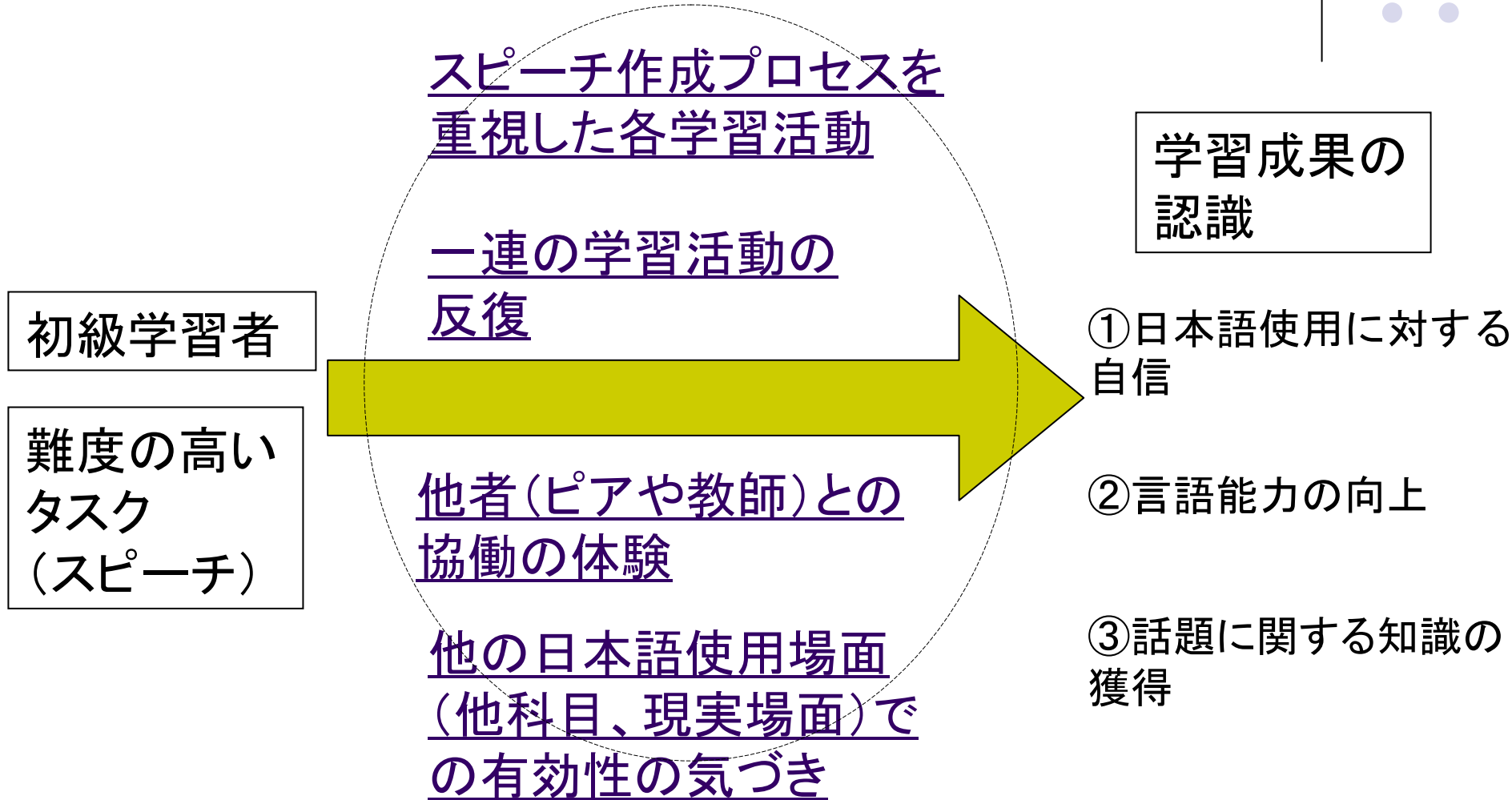
<評価シートの例>

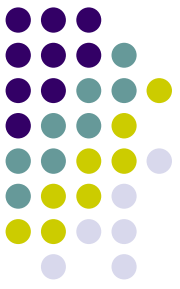
Speech presentation evaluation			
		Name	_____
		Evaluator	_____
Evaluation points		Assessment (○/○/×)	Comments
Contents	Discourse structure		
	Contents of the speech		
	Accuracy (grammar, vocabulary)		
	Contents of the visual aids (hand outs, map, chart etc)		
Performance	Pronunciation (clear voice, speed, pause)		
	Attitude in the presentation (body action, eye contact)		
	How to use visual aids		
	Interaction with the audience in Q&A		

コースデザイン、クラス活動に関するお問い合わせ、ご相談がございましたら、jpf-kansai@jpf.go.jpまでお寄せください。



3. 教師・学習者からのフィードバック～





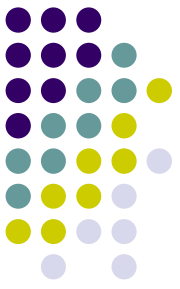
本書への意見、コメント

(ア)コースでの位置付け

Q : コースの中にどのように取り入れれば
いいか、他にアイデアはありませんか？



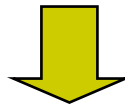
A : 科目を週1回開講する
発表会の前にスポットで開講する
数年間にかけて1年に1-2回、開講する



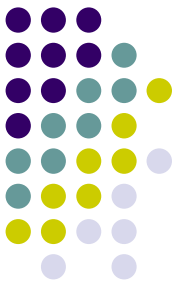
本書への意見、コメント

(イ) 授業形態

Q : 少人数でないと授業活動、特に評価に負担がかかりそうですが…。



A : スピーチや作文の添削に手間がかかるのは仕方ない!?
この教材を使ってFlowchartの把握、Q & Aの活動を行えば、訳のわからない原稿は出てくる
ことが少ない!



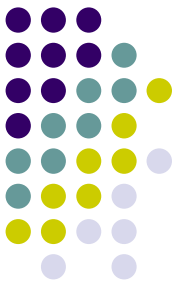
本書への意見、コメント

(ウ) 談話展開パターンの制限

Q : Step1では同じ談話展開パターンが繰り返されすぎているように思います。



A : 学習を繰り返すことによって、難度の高いタスクの達成プロセスに慣れることができる



本書への意見、コメント

(工) 語彙

Q : Reference vocabularyの語彙が難しすぎて学習活動の弊害になりませんか？



A : 「学習者にとって易しい語彙＝初級語彙」??
(教師にとって?) 難度の高い語彙を初級文型に埋め込むことで話したいことが話せる →満足感が高い

本書への意見、コメント



(オ) 話題

Q : 話題によっては学習者が興味を持ってないものもあるのではないのでしょうか？



A : テキストの全ての話題（課）を扱う必要はない。学習者の興味やニーズを考えて話題を選ぶことが大切。

本書への意見、コメント



(オ) 話題

Q : 選ばれている話題は、自分の国を紹介するタイプのもので多いようです。日本国外では使いにくいのですが...



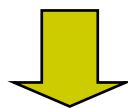
- A :
- ①最終タスクを工夫する
日本人との交流会を企画する
協定校へのビデオレターを制作する
 - ②話題を少しアレンジする
「4課 観光」→「今までの旅行で一番楽しかったところ」
 - ③話題を大幅に変える
「先輩から後輩に学校の授業について説明する」

本書への意見、コメント



(カ) 学習スタイル

Q : スピーチをしたがらない学習者がいたらどうしたらいいですか？



A : 発表技術の獲得より、スピーチ作成プロセスにおける学習効果を優先させる

- ① Q & A まで → 日本人との会話の時、役立つ
- ② 作文まで → まとまりのある文章を作る練習になる

本書への意見、コメント

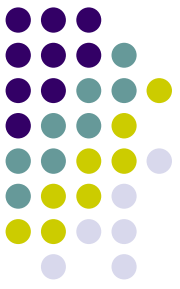


(キ) 英語の使用

Q : 教材は英語対訳ですが、クラス活動や個別指導の時には英語を使うのでしょうか？



A : 使う場合でも、単語レベルに留める
「ふつうの」 / 「学習者が接する」日本人なら
分かる程度の英単語に限る



グループワーク

みなさんの教育現場で使うためには、
どうすればいいでしょうか？

- 日本語コースの中での位置付け
- 話題
- タスクへの動機づけ

グループワーク1

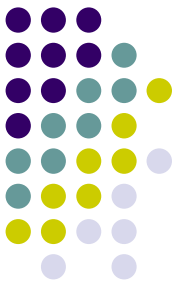


?

みなさんのクラスについて考えましょう！

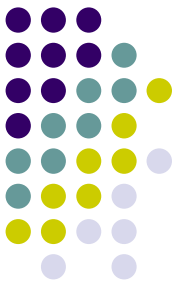
1. 学習者(日本語レベル、年齢、学習目的)
2. コースの中での位置づけ
(クラスサイズ、スピーチにとれる時間数)
3. 話題と最終タスク

Step1を どのように変えたら、
みなさんのクラスで使えますか？



グループワーク1 (例)

1. 学習者 初級前半・高校生・外国語科目の一つ
2. コースの中での位置づけ: クラスサイズ20人
スピーチにとれる時間数: Exchange programの3ヶ月前、
5コマ
3. 話題と最終タスク: Exchange program の高校に国紹介のビデオを作って送る。



グループワーク1 (例)

その他にも・・・

日本語コースでの位置け

・・・例) 1学年で1回ずつStep1を勉強して、
卒業学年でスピーチコンテストをする

話題と最終タスク

・・・例) 先輩から後輩に授業について紹介する
日本人とのビジターセッションで自分のルーツに
ついて説明する

グループワーク2



?

みなさんのクラスについて考えましょう！

Step2 第10課

どのように変えたら、みなさんのクラスで使えますか？